

【歯科電子点数表のファイル一覧表】

項番	種 別	ファイル名称及び種類
1	ア 歯科診療行為マスター 補助マスターテーブル	「01 補助マスターテーブル（歯科）」： CSV ファイル
2	イ 包括・被包括テーブル	「02 包括テーブル（歯科）」： CSV ファイル
3	ウ 背反関連テーブル	「03-1 背反テーブル1（歯科）」： CSV ファイル 「03-2 背反テーブル2（歯科）」： CSV ファイル 「03-3 背反テーブル3（歯科）」： CSV ファイル 「03-4 背反テーブル4（歯科）」： CSV ファイル 「03-5 背反テーブル5（歯科）」： CSV ファイル
4	エ 算定回数テーブル	「04 算定回数テーブル（歯科）」： CSV ファイル

1 「歯科診療行為マスター」ファイルについては、「診療報酬情報提供サービス」HPからダウンロード願います。

2 背反テーブルの内容は次のとおりです。

「03-1 背反テーブル1（歯科）」： 1日につき背反となるもの

「03-2 背反テーブル2（歯科）」： 同一月内で背反となるもの

「03-3 背反テーブル3（歯科）」： 同時に背反となるもの

「03-4 背反テーブル4（歯科）」： 同一部位で同時に背反となるもの

「03-5 背反テーブル5（歯科）」： 1週間につき背反となるもの

#### 4 歯科電子点数表の新設テーブル詳説

##### (1) 歯科診療行為マスター補助マスターテーブル

主に、当該診療行為と各テーブルとの関連の有無を示すフラグの設定及び歯科で算定可能な医科診療行為を収載する。

なお、歯科診療行為マスター補助マスターテーブルと各テーブルとの相関関係は、付表3から5を参照願いたい。

< 各テーブルとの関連識別情報 >

各テーブルとの関連識別は、次のとおりとする。

項目名	形式	内容
包括・被包括関連 (グループ番号 ~ )	英数7桁	1桁目：告示番号のアルファベット部 2桁目～4桁目：告示番号 5桁目、6桁目：告示番号の枝番 7桁目：告示番号内の通番 (例)... このページ下段の歯科診療行為マスター補助マスターテーブルイメージを参照 抜髄(単根管)：「1005001」 抜髄(単根管)は、告示番号1005、枝番はなし(00)、告示番号内で通番1(1) 但し、2つ以上の診療行為の包括条件が同条件である場合は同一グループとし、若い告示番号をグループ番号とする。 関連なしの場合：「0」
背反関連識別	数字1桁	「0」：背反関連テーブルと関連なし 「1」：背反関連テーブルと関連あり
算定回数関連	数字1桁	「0」：算定回数テーブルと関連なし 「1」：算定回数テーブルと関連あり

##### [ 歯科診療行為マスター補助マスターテーブルイメージ ]

診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称	包括・被包括関連				背反関連識別					算定回数関連	コメント関連			
			包括単位	グループ番号	包括単位	グループ番号	1日につき	同月内	同時	同一部位同時	予備(1週間につき)			予備		
309002110	00000	抜髄(単根管)	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
309002210	00000	抜髄(2根管)	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
309002310	00000	抜髄(3根管以上)	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

【解説】抜髄(単根管～3根管以上)は、グループ番号が「0」(関連なし)ではなく「1005001」と設定されていることから、包括・被包括テーブルと関連があり、また背反関連識別の同時に「1」(背反関連テーブルと関連あり)が設定されていることから、背反関連テーブルとも関連すること及び算定回数関連に「1」(算定回数テーブルと関連あり)が設定されていることから、算定回数テーブルとも関連することを表している。

## 歯科電子点数表の活用手引き

### (2) 包括・被包括テーブル

他の診療行為（親）に包括される診療行為（子）を表す。

歯科診療行為マスター補助マスターテーブルの包括・被包括関連項目のグループ番号と包括・被包括テーブルのグループ番号が同一である場合、包括・被包括関係が成り立つ。

#### [包括・被包括テーブルイメージ]

グループ番号	診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称
1005001	309001810	00000	生切
1005001	309001910	00000	失切
1005001	309003310	00000	根管貼薬（単根管）
1005001	309003410	00000	根管貼薬（2根管）
1005001	309003510	00000	根管貼薬（3根管以上）
1005001	309010950	00000	抜歯前提の消炎目的の根管拡大後の根管貼薬

【解説】グループ番号「1005001」は、補助マスターテーブルの「抜髄（単根管～3根管以上）」のグループ番号と同一であることから包括・被包括関係が成り立ち、「生切」以下、「抜歯前提の消炎目的の根管拡大後の根管貼薬」までは抜髄（単根管～3根管以上）に包括され算定できないことを表している。

### (3) 背反関連テーブル

他の診療行為との併算定が出来ない診療行為を表し、背反区分により算定の可否を判定する。

なお、背反の条件には「1日につき」、「同一月内」、「同時」、「同一部位同時」、「1週間につき」があり、それぞれのテーブルを作成している。

#### [背反関連テーブルイメージ（同時）]

診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称	診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称	背反区分	特例条件
309002110	00000	抜髄（単根管）	311000210	00000	浸麻	1	0
309002210	00000	抜髄（2根管）	311000210	00000	浸麻	1	0
309002310	00000	抜髄（3根管以上）	311000210	00000	浸麻	1	0
311000210	00000	浸麻	309002110	00000	抜髄（単根管）	2	0
311000210	00000	浸麻	309002210	00000	抜髄（2根管）	2	0
311000210	00000	浸麻	309002310	00000	抜髄（3根管以上）	2	0

【解説】抜髄（単根管～3根管以上）と同時に実施した浸麻は、背反区分注「1」より抜髄（単根管～3根管以上）に含まれ別に算定できないことを表している。

注．背反区分については、本手引書26ページの6 新設テーブルのレコード情報表記仕様（3）背反関連テーブルを参照願いたい。

## 歯科電子点数表の活用手引き

### (4) 算定回数テーブル

当該診療行為に対し、算定単位ごとの算定回数を表す。

「歯科診療行為マスター補助マスターテーブル」の算定回数関連に「1」が設定されている場合、当該診療行為の算定単位ごとの算定回数を表している。

#### [歯科診療行為マスター補助マスターテーブルのイメージ]

診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称	包括・被包括関連						背反関連識別						算定回数 関連	コメント 関連
			包括単位	グループ番号	包括単位	グループ番号	包括単位	グループ番号	1日につき	同一月内	同時	同一部位同時	予備1週間につき	予備		
309002110	00000	抜髄（単根管）	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
309002210	00000	抜髄（2根管）	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
309002310	00000	抜髄（3根管以上）	4	1005001	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

#### [算定回数テーブルイメージ]

診療行為コード	加算コード	診療行為省略名称	算定要件	算定単位 コード	算定単位 名称	算定 回数	特例 条件
309002110	00000	抜髄（単根管）	0	117	歯	1	0
309002210	00000	抜髄（2根管）	0	117	歯	1	0
309002310	00000	抜髄（3根管以上）	0	117	歯	1	0

【解説】歯科診療行為マスター補助マスターテーブルの「抜髄（単根管～3根管以上）」は、算定回数関連が「0」（関連なし）ではなく「1」と設定されていることから、算定回数テーブルと関連があり、算定回数テーブルに収載されている「抜髄（単根管～3根管以上）」は「歯」ごとに1回算定できることを表している。

また、算定要件には当該診療行為の回数を算定するに当たり歯の種類（歯種等）の要件がある場合及び特例条件には特別な条件がある場合に設定している。

（算定要件については、算定要件一覧（付表2）を参照）

## 歯科電子点数表の活用手引き

### ( 1 ) 歯科診療行為マスター補助マスターテーブル

6			グループ番号	英数	7	可変	包括・被包括グループ番号を表す。 包括・被包括テーブルの参照先グループを表す。 包括単位が「0」の場合、「0」を記録	
7			包括単位	数字	2	可変	包括単位 と同じ	
8			グループ番号	英数	7	可変	グループ番号 と同じ	
9			包括単位	数字	2	可変	包括単位 と同じ	
10			グループ番号	英数	7	可変	グループ番号 と同じ	
11		背反関連識別					他の診療行為との併算定ができるか否かを表す。	
		1日につき	数字	1	固定	背反関連テーブル(1日につき)との関連の有無 0:関連なし 1:関連あり		
		同一个月内	数字	1	固定	背反関連テーブル(同一个月内)との関連の有無 0:関連なし 1:関連あり		
		同時	数字	1	固定	背反関連テーブル(同時)との関連の有無 0:関連なし 1:関連あり		
		同一部位同時	数字	1	固定	背反関連テーブル(同一部位同時)との関連の有無 0:関連なし 1:関連あり		
15			予備1週間につき	数字	1	固定	<del>未使用:「0」を記録</del> 背反関連テーブル(1週間につき)との関連の有無 0:関連なし 1:関連あり	